

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

- ◇例会日
- ◇例会場
- ◇事務所

第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.nc.jp



The Magic of Rotary



第1669回例会 令和6年10月3日(木)

【会長の時間】

高田 富康

皆さん、こんにちは。読売新聞に「長瀬は日本一安全」という記事が載っていました。商工会長、副会長が記者会見をして、それが記事になったという事です。埼玉新聞にも載っていました。



長瀬は日本一安全ですよとPRして、長瀬を盛り上げて、企業誘致や移住を推奨して人口を増やすという事につながればという事だと思います。

安全だという根拠として8つ挙げています。

1. 活火山から遠い
2. 地震が少ない

長瀬は地球の窓と言われて、岩が地表に出ていると思いますが、東日本大震災の時に家にいましたが、棚から物が落ちませんでした。秩父市では、岩があっても、その上に堆積があるので、その違いがあるでしょうという事でした。保険の仕事をする中で秩父市で家の基礎にひびが入ったという事で、5%の支払いを2件しました。

3. 原子力発電所から遠い
4. 有事に攻撃対象となる防衛施設から遠い

有事の場合は基地などに攻撃されますが、その施設が近くにはありません。

5. 海から遠い
6. 山に囲まれ、台風などの風水害が少ない

風の害が少ないです。うちもブドウを作っていますが、台風によって減収になった事はありません。水害については台風19号の被害の時には1件保険の支払いがありました。

7. 晴天率が高い

秩父市、皆野、長瀬を見てみると、秩父市内では雨が降っても長瀬では降っていないという事があります。

8. 電源確保が容易

ITの設備を造るのには長瀬が良いと。高圧線が通っていて電源が取りやすい。小鹿野は、三山の重要な変電所があります。今、商社がお金を掛けて、サーバーを置く所を探しているようですが、それを長瀬に誘致出来ればと思います。

これから長瀬に期待したいと思います。

【幹事報告】

畝 徳治

1. 地区事務所より
 - ①地区大会の案内
 - ②月信10月号
 - ③地区会計収支報告書
2. 横浜金沢八景ロータリークラブより年度計画書



【理事役員会報告】 プログラムについて

10月	3	木	通常例会(会員卓話)	理事役員会
	10	木	通常例会(外部卓話)	
	17	木	休会	
	24	木	親睦夜間例会	養浩亭
11月	31	木	休会	
	7	木	通常例会(会員卓話)	理事役員会
	14	木	通常例会	
	21	木	休会	
	28	木	親睦夜間例会(児玉合同)	長生館

会員卓話

畝 徳治会員

私は定年退職した年の11月に皆野町シルバー人材センターに入会しました。事務局の臨時職員として勤務し、間もなく16年になります。

シルバー人材センターとは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に地域社会の活性化に貢献する組織です。センターは、原則として市(区)町村単位に置かれており、基本的に都道府県知事の指定を受けた社団法人で、それぞれが独立した運営をしています。原則として、仕事をするシルバー会員も仕事の依頼者も地域限定になります。

全国シルバー人材センター事業協会の情報によると、令和5年度末の団体数は1,341団体、会員数は676,756名とのことです。このうち75~79歳の会員は205,768名(30.4%)、80歳以上の会員は125,517名(18.5%)いるとのことです。

センターは、定年退職者などの高齢者に、そのライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向

上と、活性化に貢献しています。その他の軽易な業務とは、特別な知識又は技能を必要とすることその他の理由により同一の者が継続的に当該業務に従事することが必要である業務のことです。センターは、地域の家庭、企業、公共団体などから請負又は委任契約により仕事（受託事業）を受注し、会員として登録した高年齢者の中から適任者を選んでその仕事を遂行します。仕事の完成責任は、契約主体であるセンターが負います。

シルバー人材センターにどんな仕事が頼めるかは、その時点でどんな技能を持っている会員がいるかで決まります。高齢化で退会する会員もいるので、昨年までは受けていた仕事が今年から受けられなくなることもあります。反対に新会員が入会すれば、昨年までは受けられなかった仕事が今年からは受けられるということになります。

皆野町シルバー人材センターで年間を通してある仕事は、病院・事務所・観光施設等の清掃業務、町施設の受付管理業務、ハイキング道の定期巡視、家庭の襖・障子張り替えなどがあります。ハイキング道の定期巡視は、町内の指定のハイキング道を毎月巡視し、危険な倒木がないかや歩行に不都合な場所がないかなどを視て回る業務です。報告写真を見ると、ハイキング道を横切る倒木などがしばしば発生しています。倒木の太さは大人の太腿くらいあるものもあります。邪魔な倒木は手持ちの鋸等で切断し、ハイカーが安全に通行できるよう作業します。

襖・障子張り替えは作業場所が必要なため、秩父市シルバー人材センターや長瀨町シルバー人材センターでは現在受けていません。そのため、町外からの依頼も時々あります。襖・障子張り替え技術は先輩から伝授するのですが、なかなか難しいらしく、途中で技術習得を諦める会員が多いです。現在は、特定の技能者が頑張っていて、他の会員は手伝い程度しかできず、技術力の差が大きいままです。中心人物が居ないと仕事が進まないようです。網戸の張り替えは、しばらく受け入れできない期間がありました。令和4年度に技能者が入会し、受け入れ可能となりました。令和5年度だけで22件の依頼がありました。こちらは一人の会員が他の仕事もこなしながら対応しています。夏場に多い仕事は、草刈り、除草、植木剪定です。町の運動公園・文化財遺跡・町道の草刈り、皆野寄居バイパス沿いの草刈り、水道組合の水道施設の草刈りは毎年受注しています。草刈りや植木剪定は個人宅からも依頼が多いです。刈払い機やチェーンソーを使う仕事、並びに植木剪定は、規定の安全講習を受けたシルバー会員しかできません。安全講習は外部機関で受けるのですが、費用はセンターが負担します。

皆野町シルバー人材センターの動向として、入会したてに比べ会員数が大幅に減少しています。入会したて頃、会員数は平成20年度末232名、21年度末245名、22年度末250名とピークになり、その後は減少続きで、令和5年度末140名です。会員減少の最大理由は、企業の定年年齢が上がっていることです。以前はまだ仕事が

充分できる体力がある状態で退職していたので、もう少し働きたいという人が会員になっていました。今は以前より高齢になって退職する人が増えたので、今更働きたくないという人が増えたのだと思います。今後、企業の定年年齢が上がるとともにシルバー人材センターの使命も終わるのかもしれませんが。

それはさておき、近く対応が必要となる事項が発生しています。フリーランス法への対応です。特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律「フリーランス新法」は、フリーランスとして働く人々が安心して仕事ができる環境を整えるために制定されました。具体的には、フリーランスの方と企業などの発注事業者との取引を適正化し、就業環境を整備することを目的としています。フリーランスとは、従業員を使用せずに個人で業務を受託する人々を指します。例えば、カメラマン、ライター、デザイナーなどが該当します。請負・委任の仕事をしているシルバーの会員もフリーランスとなります。発注事業者はフリーランスに対して、契約条件を明示する義務が生じます。例えば、業務の内容、報酬の額、支払期日、契約をした日などの条件を、書面または電磁的方法で通知する必要があります。その他にも「支払期日設定と期日内の支払い」「募集情報の的確表示」「ハラスメント対策の体制整備」などの義務があります。フリーランス法への対応として、これまでは、お客様とセンターとの契約、センターとシルバー会員との契約の二段階契約の形でしたが、今後は、お客様とシルバー会員が直接契約し、センターは契約の支援をするとの契約形態になるようです。契約事務の遣り方が変わります。詳しい指示はこれから来る予定です。

以上、私が仕事で関わっているシルバー人材センターについて、契約の仕組み、仕事の事例や問題点、時代的な課題などを、お話しさせて頂きました。ロータリー会員の皆様の仕事や生活に直接関わることは無いかも知れませんが、このような機関があり、大勢の高年齢者が活躍していることを知って頂ければ幸いです。

四つのテスト 小笠 和也会員



出席率

免除以外の会員	出席免除会員	出席	メイク	出席率
7	0	5	0	71.4%